


公益社団法人全国産業資源循環連合会


第 67 回理事会議事録



令和 5 年 7 月 11 日（火）午後 2 時、当連合会会議室（東京都港区六本木 3-1-17）において、第 67 回理事会を開催した。上記の開催場所に存しない理事は、Web 会議システムを用いて本理事会に出席した。

理事現在数 25 名、定足数 13 名

出席理事数 25 名



出席理事 永井 良一、鈴木 昇、杉田 昭義、橘 正則、井上 吉一、片渕 昭人、大塚 雅司、松本 英高、篠原 隆博、室石 泰弘、山岡 緑三郎、菊池 清二、鈴木 宏和、藤枝 慎治、木下 茂、田端 俊三、三谷 哲也、野原 雅浩、永田 雄一、古矢 満、東浦 知哉、都築 建、伊丹 重貴、藏本 悟、海野 泰兵



出席監事 時田 茂、谷崎 晃、芝田 麻里

以上のとおり理事及び監事の出席があったので、定款第 43 条の規定により会長（代表理事）永井良一が議長に就任し、本理事会は適法に成立したので開会する旨を宣した。




1. 決議事項

第 1 号議案 保存期間経過後会計関係書類の処分について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 1 に基づき、会計処理規程に定める保存期間を超過した会計関係書類の処分について説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。



2. 協議事項

- ① 令和 5 年度「第 19 回産業廃棄物と環境を考える全国大会」（令和 5 年 11 月 10 日）の開催について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料2に基づき、本年11月10日に開催する第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会（会場：グランドニッコー東京台場 パレロワイヤル）のプログラム等の概要を説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

② 令和6年度予算、税制等に関する要望等について

議長の指名により、片渕理事（法制度対策委員会委員長）が資料3-1に基づき、標題の件を議題として10日に法制度対策委員会を開催したことを報告し、今後、資源循環及び脱炭素化に関する新制度の検討を行う国の中央環境審議会小委員会への意見を取りまとめていきたいと述べた。

また、室石専務理事が環境省からの情報として、中央環境審議会小委員会の第1回が7月28日に開催され、その後の審議を経て年内を目途にいったん取りまとめを行うことが予定されており、この小委員会の動きに合わせて法制度対策委員会で意見を集約していただきたいと考えているとした。

続いて都築理事（最終処分部会長）が資料3-2に基づき、7月4日に開催した最終処分部会運営委員会において、今年度で期限切れとなる軽油引取税課税免除措置の延長及び災害廃棄物の受入に係る支援措置の創設等について国に要望することを決定したと報告した。

3. 報告事項

① 第13回定時総会報告について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料4に基づき、6月17日に開催した第12回定時総会の開催結果について報告した。

② 令和5年度産業・資源循環議員連盟総会議事概要について

藤枝理事（全国産業資源循環連合会政治連盟理事長）及び吉田参与（同政治連盟事務局長）が資料5に基づき、6月13日に開催された令和5年度産業・資源循環議員連盟総会の概要について報告した。

③ 次回理事会その他の日程について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料6の年間行事予定表を報告した。

④ その他

山口事務局長兼総務部長が資料7から資料10の配付資料を紹介した。

4. その他

藏本理事（建設廃棄物部会長）が、「建設廃棄物部会では、国の直轄工事における再生材の利用を発注仕様書に明示していただけるよう国交省に要望してきたところだが、今後は各地方整備局に対しても働きかけていきたいと考えている」とし、各都道府県協会に加盟する建設廃棄物処理業者との連携がますます重要になることから、建設廃棄物部会あるいは委員会の整備に向けての協力を各協会にお願いしたい旨の要望を述べた。

この要望を受けて意見交換を行った結果、その旨の協力を各都道府県協会に依頼することを決めた。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後 2 時 40 分に閉会した。

以上の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成し、出席した代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和5年7月11日

公益社団法人全国産業資源循環連合会理事会

代表理事 永井 良一



監 事 時田 茂



監 事 谷崎 晃



監 事 芝田 麻里

